

産業廃棄物処理業務一式（埋設物の掘削・処理）の結果概要

【佐賀県吉野ヶ里町】

令和6年11月1日

1 事業の概要

佐賀県吉野ヶ里町の国有林野における埋設箇所については、昭和46年に2,4,5-T系除草剤（粒剤945kg）を土壌・セメント・水と混和して、2つに分け、2m間隔で掘った縦2m、横2.5m、深さ2mの2箇所の穴に埋設し、定期点検等を実施してきた。その後、地域の要請を踏まえ、平成20年度に地上部に設置されたフェンスに沿う形で、深さ4mまで鋼矢板を壁状に打ち込んだ。

令和4年度に試料採取・成分分析を実施し、令和6年2月より、当該分析等により特定した掘削対象範囲（鋼矢板壁内）と処理方法で、埋設箇所の中央部分にある埋設除草剤の掘削・収集運搬・無害化処理等を実施した。なお、作業中は掘削対象物の飛散・流出等による環境汚染防止のため、作業箇所を覆う仮設テントや、ダイオキシン類に対応した集塵機を設置した。

埋設除草剤等は、耐久性が高い浸透防止シートで包んでドラム缶内に封入し、処理施設へ運搬、無害化処理を行った。8月に今年度事業の中央部分の掘削対象範囲を全て掘り取った後、底面から試料を採取し、成分分析により環境基準値を下回ることを確認した上で、掘削箇所に雨水等が溜まらないよう木製蓋、防水シート、覆土で仮保全した。

2 作業状況、埋設状態及び分析結果

事業箇所	佐賀県吉野ヶ里町 (掘削・収集運搬・無害化処理)		
作業項目			
作業状況写真	<埋設箇所の作業前の全景>  <仮設テントの設置>  <掘削①>  <俯瞰した作業箇所>  <集塵機の設置>  <2つに分けた埋設物の確認> 		

	<掘削②>  <ドラム缶封入>  <ドラム缶積込、搬出>  <底面の試料採取>  <木製蓋・防水シート敷設>  <覆土・フェンス復旧> 
埋設物の有無、状態	有り。シートで包まれた固結したコンクリート。
掘削量	約 84m ³
底面土壌の ダイオキシン類の濃度	0.000048pg-TEQ [※] /g、0.0011pg-TEQ/g (環境基準値：1,000pg-TEQ/g)
搬出量	ドラム缶 620 本
処理量	約 145 トン

※ TEQ とは毒性等量の意味で、毒性の強さを加味したダイオキシン量の単位。

3 今後の取組予定

令和4年度に実施した試料採取・成分分析により特定された掘削対象範囲（鋼矢板壁内）と処理量を踏まえ、埋設箇所の中央部分以外の残りの部分の掘削・収集運搬・無害化処理等の実施に向けて事業を令和7年度に発注する予定である。